

大地震・住宅耐震情報

正しい知識と情報の精査が命を守るカギとなる

地震・耐震に関して、よく耳にするのは

- ◆ 南海トラフ・首都直下型地震
- ◆ 耐震診断・耐震改修工事
- ◆ 液化現象
- ◆ 制振・免震装置の効果
- ◆ 地震保険の加入
- ◆ 新耐震基準と旧耐震基準

このようなこと以外にも、みなさんが普段耳にしない重要なことが多く存在します。

大地震から本当に守りたいもの



● 阪神・淡路大地震で亡くなった人の87%が「家具・家具類の倒壊による圧死」という事実。

● 数百年に一度と想定されている大地震が、実は30年の間に9回も発生しているという現実。

● 世界的なエネルギー、物価高、円安によって増える経済負担と建築難民。

● 社会保障費削減の波、賃金を借りられない高齢者の増加による三世代同居の選択。

このようにメディアでは、多くの情報が発信されています。いつ起こるか分からない大地震。政府やメディア発信による建築業者主導の耐震診断や、耐震補強を迷う人が多いです。しかし、みなさんが地震から守りたいものは住宅ではなく自分や家族の命ではないですか？と耐震診断アドバイザーの渥美朋久氏は話す。

耐震診断アドバイザー 渥美朋久

浜松市出身。
2007年より、木造住宅の新築・リフォームを手掛ける会社を設立。現場監督としても多くの現場に携わる。2018年より一般社団法人暮らし振興支援機構（はなきりん）の活動に参加。年間多数の住宅診断・耐震診断やアドバイスをを行う。



私は地元の建築会社を経営する中、阪神・淡路大震災以降、国の定める耐震基準が厳しくなり、耐震診断や耐震補強の対応数も増えてきました。

ある時、多くの方が、地震から住宅を守るために数百万を超える耐震補強工事を依頼していることに疑問を抱くようになりました。

僕自身が守りたいのは住宅ではなく、ここに住む家族の命と生活です。いつどんな大きな地震がやってくるかなんて予測もできない状況下で、耐震補強をしただけでは家族の命は守れません。

このことがきっかけで僕は、全国の建築会社にお客様に伝えるべきことは耐震のことに加え命の守り方だということ講演するようになりました。同時に、消費者の皆さんにもそのことを理解した上で、耐震診断や耐震補強を考えてほしいとなり、当会専門家として、現在全国の一般消費者向けの講座や耐震に関する相談を個別対応しています。

講演 「木造住宅の地震対策セミナー」

日時 2023年9月30日(土)
受付...10:00 講演開始...10:30 講演終了...12:00

場所 クリエイト浜松
(静岡県浜松市中区早馬町2-1)

講師 渥美朋久 (耐震補強アドバイザー)

受講料 無料

- ※建築業関係者のご参加はご遠慮下さい
- ※ご自宅の図面、メモ用紙、筆記用具、電卓をご持参下さい
- ※お申し込み後、ご招待状を郵送させていただきます
- ※定員になり次第締め切らせていただきます



はなきりん公式ウェブサイト
<http://hanakirin.or.jp>

主催：はなきりん
(一般社団法人暮らし振興支援機構)

申し込み・お問合せ：はなきりん事務局

TEL.0120-870-041

(電話受付：9：00～17：00)

TEL0789-61-7723

〒663-8113 兵庫県西宮市甲子園口2-10-22

FAX用: 必要事項をご記入いただき、FAX番号 050-3512-4878 へ返信ください。

フリガナ
お名前

様

ご参加人数

名様

ご住所

携帯番号

E-mail



左記QRコードからもお申し込みいただけます。